

## NANIWA17号

**歓迎！支部首都行動団！要請行動盛大に行われる。**

「この会社は冷たすぎる。考えられない対応だ。」...労連書記長談

4 / 9 / 10 / 11は支部、首都分会の行動団と共に要請、ピラ運動をしました。あいにく嵐のような日々でしたが支部佐藤委員長を筆頭に本部、支部、地協、他支部の方々、首都分会、OBの方労連の方がひとつになり京阪神金分会とともに要請行動に取り組みました。要請書については社屋に入れない、いれる。のやりとりがものすごい緊張感の中で起こりました。特筆すべきことは一応、玄関先であろうとも要請書を朗読し、本社へ伝えるように申し添え受け取らせたことです。その後は、ピラと宣伝カーからのシュプレヒコール。みんながひとつとなり闘っているすべがよくわかりました。

神戸の対応...どしゃ降りの中玄関にさえ雨宿りもだめだと言うRA支社長。警備員盾に忠誠をみせつける。しかし、中にいれて要請文の読み上げを肅々と聴いて、本社に伝えると。

京都の対応...神戸の件が判っていたのか、また、人通りの多いアーケードでは困るのか、すぐに要請団を中に入れ、早く終わらせようということだった。玄関先は綺麗に便所は汚く。

大阪の対応...風と雨の中じっと来るのを待ち構えていらっしやいました。しかし、前日の労連からの要請を邪険に扱ったためサブタイトルにあるように、労連書記長は激怒されていた。いれるいれないで、紛糾し、会社は私の判断といつつも、わけのわからんことばかりいって最後は全員は困ります、5人ぐらいでいい中に入る。いったいなんのこっちゃわけわからん。

{私たちは全員腕章とゼッケンを着用しています。ピラを片手に行動をしています。署名もやるぞ} 振り返って...{皆様大変お疲れ様でした。歩くの早すぎてすみません。}

首都から来ていただいた方々にはあまり京阪神の街を堪能できなかったが、雨にも負けず交流が深めれたことを大事にしていきたいと思います。また裁判所や本社行動などの時にはよろしくお願ひいたします。ご一緒していただいたとおり私たちも、みんなの応援がある中で少数ながらがんばっています。共にがんばりましょう。

(^.^)どぶいたニュース92号にて弁護団見解出ています。熟読しよう。

(^\_^x)とうとう月掛けの廃止が出されました。また論議していきましょう。

ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために

全損保日勤外勤支部大阪分会